



令和4年10月31日

かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

11月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

豊かな心の育ちを願って

校長 小林 京子

今年のスポーツフェスティバルは、曇り時々晴れ、気温 25 度、まさにスポーツ日和のコンディションに恵まれて開催することができました。今年も保護者 2 名までとの制限はありましたが、久しぶりに入れ替え制なしの開催ができ、多くの保護者の皆様の応援に大変心強く感じられました。ありがとうございました。

さて、昔から教育には、「知」「徳」「体」が大切であるといわれています。「知」とは、幅広い知識と教養であり、「徳」とは豊かな情操と道徳心のことを言います。「体」とは、健やかな体のことです。これらをバランスよく育成していくことが、教育には必要なことです。しかし、数値の比較や目標基準が示しやすい「知」「体」には、注目が集まりやすく、「徳」の豊かな心には、数値化が難しいため、その大切さは認識されつつも具体的な取組については、漠然としていることも感じられます。自分本位な主張や行動をする人が増え、そこから起こるトラブルなども教育現場の課題として取り上げられています。

そのような背景の中、上瀬谷小では前号でお伝えした「基本的な生活習慣の形成」と並行し、「豊かな感性」「豊かな心の育ち」を大切に、日々の実践を積み重ねています。子どもたちは、コロナ禍で全校児童の前で話をしたり表現をしたりすることを長いこと制限されてきました。そんな中、本校では、広い校庭で距離をとり外での全校朝会をしながら、子どもたちが臆することなく全校児童の前で表現できるようにしてきました。また、「きらぼか」と呼ばれる 1 年生から 6 年生までが集まる異学年のグループ活動も取り入れました。今年のスポーツフェスティバルを見ていただいた保護者の皆様からはそうした視点での感想をたくさんいただきました。開閉会式の司会・開閉会式の言葉・児童代表の言葉で、当日、原稿をもたず、自分の言葉で見事に自分の思いを伝えていること、自分の名前や所属を言われた時は、大きな声で「はい」という返事をする事、低学年をトイレに連れて行ったり徒競走の着順位置まで優しく誘導したりする高学年の姿など、ここでは書き表せないほど保護者や学校懇話会の皆様にもたくさんお褒めの言葉をいただきました。

互いに協力し、共に創りあげていく喜びを実感する。自分の思いをもち堂々と表現する。相手の気持ちを考え、思いやりのある心を育てる。そして、それらのことを互いに高め合っていく、そんな活動を意図的・計画的に実践することが大切であると考えています。その中で培われたことが、学年が進んでいくにつれ、より確かな力となっていくことを願っているのです。この後も、各学年、様々な学習や行事の計画がなされていますが、こんな視点で見守っていただけると幸いです。

今年度も早いもので下半期を迎えました。皆様からのたくさんのご感想と励ましの言葉に感謝するとともに、思いを新たにしているところでもあります。今月もどうぞよろしくお願いたします。